

● 第2回親子で遊ぼう学ぼう魚とり 26日（日）増水のため中止 高山ダムは50トンの放流が続いていました、広い範囲で降雨が続きました。普賢寺川の水量はかなり多めでした。福井さんが胴長靴で調べてみると、低水敷まで冠水しており、普賢寺川河口では腰までの深さでした。流れも速く子供たちにとっては、流される危険もあり、とても魚とりができる状況ではありませんでした。参加申し込み者は20名程度でしたが、危険を冒すより安全が第一と考えました。しかし楽しみな皆さんですので、26日に現地を見て納得いただくことにしました。当日9時から集合場所で福井さんとお待ちしましたが、枚方の原さんが2年ぶりに来られ、状況を見て納得いただきました。そのほか時間遅れで電話が入りましたが、状況を伝えて7月17日を楽しみにしようと別れました。

● オオムラサキ観察会 25日（土） 6名の参加 タマムシ ゴマダラチョウの幼虫
昨夜から小雨がばらついていました。しかし晴れ間も時々見られます。梅雨といえば、しとしとと降り続くものと体が覚えています。近頃は梅雨はドカッと大雨が続き土砂が流れ落ちる災害をもたらすようになっています。しかしこの日はこれまでの梅雨の様子でした。きっと雨が止むとオオムラサキの飛翔が見られると大いに期待しました。これまで常連の安永さんは奥さんと一緒にタクシーでご参加されました。片道2500円だったそうです。大変期待されていましたが、午前中の2時間では確認できませんでした。観察台では金田さんがゴマダラチョウの幼虫がエノキについているのを発見、参加者全員が歓声を上げました。濃い緑色の葉とそっくり同じ緑色をしています。これを素人が見つけるのは至難のことです。さすが金田さんです。なかなか写真でも撮影が難しいものです。安永さんは蝶がダメならと、カメラで野鳥を探され、イカルの撮影に成功されました。少し成果がありました。よかったです。昼食後はカスミサンショウウオの調査にあたりました。降った雨が先週は濁っていた水たまりをすっかりきれいに流してくれて、肉眼でも発見できるかと期待を持ちました。4人で粘り強く観察を続けましたが、出会えませんでした。しかし、ここで新発見がありました。コクランが次々と見つかったのです。この山にも貴重植物が生育していました。この日の水温は20度でした。

● 里山農園の畦切り取り復元の土嚢土砂運び 25日 農園のあぜ道の復旧用の土砂を午後3時から運び込みました。防災訓練で土嚢づくりが行われた後、お願いをして提供いただきました。播川さんのクラウンにも積み込んでいただき軽トラックとの2台で100袋を運び込みました。10kgとすると重量は約1トン弱ということになります。削り取られた畦の修復には十分間に合うのではないかと思います。ご苦労様でした。翌日には並べなおしていただきました。資材が準備できたので一安心です。

● 平成28年度の近畿地方整備局業務発表会 27日28日の両日行われました。里山の会が昨年取り組んだ竹蛇籠を作って魚の棲みを作ろうと挑戦した取り組みを、滋賀県立大学院生の北野大輔君が河川レンジャーグループレンジャーとして発表していただきました。23人の発表者がおられる中で昨年の小林君に続き奨励賞を受賞しました。業務発表会ですので、国交省職員の通常業務での創意工夫について発表し、教訓を学ぶ場です。そこに業務としていない、いわばアマチュアが割って入って発表するのですから大変大きなハンディが最初からあります。そして今年は発表部門が安全・管理という分科会テーマのところ（去年は地域コミュニティ部門）だったので、さらに大きなハンディがかかっていた。この二つの壁を乗り越えて奨励賞の受賞は、すごい評価がされたものです。ご苦労してくれた北野君の論文とパワーポイント制作と発表は、素晴らしい出来栄でした。職員と互角以上の立派な成果でした。本当にご苦労様でした。里山の会としても河川レンジャーとしても誇れる発表でした。

● 農園活動のねらい 提案される 少しもたもたした取り組みが続きましたが、捲土重来を期して里山農園の目的を整理する機会が訪れたと考えて、29日の事務局会議に提案されたものをお知らせいたします。皆様のご意見をお寄せいただき、会員が集える農園の運営にヒントを送ってください。「自然を大切に
する仲間の輪を大きくする」を目的として ① 自然が豊かに保存されている谷合と、その周囲を活用して田

んぼ用地計1号地から19号地を活用する。同時に栽培物を売却し、活動資金を捻出する。② 会員の自主的な労務提供をもって環境保全と栽培を行い、報酬を求めない。③ 会員の自主的な参加をもって運営する。強制されることはない。④ 里山農園はNPOやましろ里山の会会員の活動場所である。⑤ 催しは里山の会年間活動計画を中心に、農園参加者の親睦と交流を深めるイベントも実施する。⑥ 会員は用地全域(あぜ道や斜面、通路)の草刈りなどを行い、周辺地からの苦情が起きないように心掛ける。⑦ 会員は環境を守り、生物多様性の保持に協力する。

● 木津川右岸山城町崩落現場 緊急に安全対策を 増水と長雨 危険看板設置される。

かなり激しい雨があったので、復旧工事が行われている崩落現場を訪ねました。初めに安全ロープを張っていたところまで崖が崩れていました。畑を作っておられる老人は、このままでは畑地がなくなってしまう、心配だとおっしゃっていました。なにをおいても安全第一で人身事故が起きないように、注意喚起の看板やロープで近づかないよう明確な表示が必要でしょう。まだ、これから長雨が続きます。

● 今年最後のオオムラサキの観察会 7月2日 10時から 実施 最後のチャンス

いよいよオオムラサキの観察最後の時が来ました。去年は産卵の現場を確認できました。今年は、これまでの観察会でオオムラサキの飛翔確認はされていません、遅れているのかもしれませんが、ぜひ、多くの皆さんにオオムラサキと出会ってもらいたいと思っています。しかし自然環境の中でのことですので、こればかりは思うようにはいきません。幼虫はかなり確認しているのですから、成蝶は必ず生息しているはずです。期待をして2日には大勢のご参加をお待ちしています。

集 合：普賢寺小学校前（または里山農園）10時から12時30分

指 導：前近畿大学教授桜谷保之先生

持ち物：補注網 長ズボン 長袖上着 しっかりした靴 水筒 筆記具 カメラ タオル 虫かご

● 親子で遊ぼう学ぼう魚とり 7月17日 参加者募集中 50組 先着順 世話役申請者から優先受付
梅雨末期で、3日ぐらい前から雨が上がってくれてほしいものです。この時期なかなか天気は期待に届いてくれないものです。雨天のプログラムも用意して、ご参加の皆さんとひと時を楽しみましょう。八幡市と城陽市域からの皆さんを対象に考えています。そして最優先者は当日の世話係を受け持っていただける保護者としています。受付組数はライフジャケットの準備の関係で50組限定です。いずれにしても先着順ですので、往復はがきで早めに申し込んでください。住所 電話 保護者名と年齢 こども名と年齢または学年を記入ください。そして忘れないように、世話係や準備係、後始末係などについてもご記入ください。

● 会費未納入者大至急納入ください 新年度が始まって3か月が経過しました。会員各位にはすでに28年度会費の納入をお済でしょうか、未納入ということでしたら、大至急納入をお願いいたします。また同時に新入会員さんの勧誘にもご協力をお願いします。先日は皆様のご協力によって、見事結成20周年祝賀集会が成功しました。新しい出発をしました。新会員さんをお迎えしましょう。これから20年の船出です。自然を大切にする仲間を大きくしましょう。

● “ササユリ事件について”を主議題として、第2回臨時理事会の開催

(7月5日(火)15時30分 京田辺市中央公民館)を予定しています。多くの皆さんに大変ご心配をおかけしています。第2回臨時理事会にて結論が得られる見通しです。